

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



グッバイ・ウェイト

家庭から大量に出る「使い捨て容器や包装材」何とか減らせないものかと誰もが思うところ。そこでこの「グッバイ・ウェイト」！ご存知ですか？

「ごみを出さないお買い物マップ グッバイ・ウェイト」では容器包装なしで買物ができるお店の情報を集めインターネットで公開しています。

2021年に始まり、全国で約1400店が登録されているそうです。

一度サイトを覗いてみてはいかがでしょうか。



消化率 46.9%

消化率と言っても食べ物のことではありません。衣服のことですがご存知ですか？日本では消費される衣服の総重量は約13.6億t、一方生産(供給)される衣服の総重量は約29億tです。衣服の消化率というのはつまり、消費される衣服の総重量÷生産(供給)される衣服の総重量のことなのです。



何と日本では半分以上が消費されず売れ残っているということになるのですが、それはいったいどうなっているのでしょうか…。

ひとこと



毎年この時期になると、サブリ村野の2階の窓から運動場の向こうに広がる水田風景に癒されます。水が張られ、稲が植えられ、日に日に濃くなるその緑！「はあ～、気持ちいいー！！」さてその水田ですが、その効能は広く知られるように、ダム機能、生物多様性への貢献、ヒートアイランド対策にも一役買っているという、大変重要な存在だという事は周知のことと思います。その水田が「村野駅周辺の大規模開発」という、開発の波にさらされているというのです。日本各地で見られる「開発」という名の自然破壊。何とかした～い！！

子

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第74号

令和4年7月1日発行（年4回発行）

発行：(特活)ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <https://hirakata-kankyou.net>

発行責任者：井上 浩一 編集責任者：丸井 晶子

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO.74
夏号
令和4年
(2022年)

環境ひらかた



令和4年度 通常総会を開催しました



去る6月4日、令和4年度の通常総会をサブリ村野2階環境保全研修室にて開催しました。コロナの脅威にさらされて3年、ようやく規制が緩和される状況が見られるようになってきました。とはいえ、まだまだ予断は許さない状況に変わりはありません。そうした状況であるため、今年度も委任状や議決権行使書による出席をお願いし、人数を制限しての開催となりました。

今年度は任期満了による役員改選期でした。永年理事長を務めてこられた伊丹均氏の辞任や、環境部長の移動による理事の交代など理事メンバーの入れ替わりがありました。(関連記事は2P)

****目次****

令和4年度通常総会を開催しました	P1
1号から5号までの総会議案が承認されました	
第2回理事会開催・役員紹介	P2
色々な事業が始まっています	P3
部会報告	P4・5
お知らせコーナー	P6
環境トピックス VOL.40	P7
環境ミニ知識	P8

令和4年度通常総会 1号から5号までの総会議案が承認されました



「役員候補者の選任に関する件」の第1号議案から「2022年度活動予算書(案)承認の件」である第5号議案まで、一部修正されましたが、すべての議案が承認されました。

総会終了後に開催された令和4年度第2回理事会では新理事長及び副理事長が互選により選出されました。また総会に先立ち開催された第1回理事会では2022年度の運営委員が決まりましたので、理事メンバー及び運営委員メンバーを併せてご紹介します。

理事長就任にあたって

会員の皆さま、この度理事長に就任しました井上浩一です。私はこの3月までの42年間行政マンとして枚方市役所に勤めてきましたが、縁あってこのひらかた環境ネットワーク会議にお世話になることになりました。環境という分野に関しては、一般的に見聞きする程度の知識しかありませんが、皆さまのお力を借りて一緒に考え、一緒に勉強しながらこの法人の更なる発展を目指したいと思っています。

環境問題を人に伝え、理解してもらう事は簡単なことではありません。

皆さんが創意工夫しながら、身近な事から取り組んでこられたこれまでの活動を、より良いものにするため、一緒に考え、知恵を出し合いブラッシュアップして行けたらと考えています。よろしくお願いします。



役員の方々(敬称略)

- 理事長 井上 浩一(元枚方市土木部長)
- 副理事長 末岡 妙子(公共交通部会 部会長)
- 理事 丸井 晶子(NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議 事務局長)
- 市山 二郎(温暖化対策チーム)
- 大石 昌徳(関西電力送配電株式会社 大阪支社 北大阪地域統括長)
- 兼瀬 和海(枚方市環境部長)
- 小出 哲男(NPO法人森林ボランティア竹取物語の会 代表理事)
- 谷崎 利男(自然農法塾 代表)
- 谷本 雅洋(北大阪商工会議所 専務理事・事務局長)
- 豊高 勝(枚方市環境審議会委員)
- 福井 克久(大阪ガスネットワーク株式会社 北東部地区支配人)
- 増本 勝久(天の川を清流にする会 代表)
- 松田 輝治(一般社団法人 枚方青年会議所 副理事長)
- 監事 柳谷 武志(枚方市 環境政策課長)
- 中塚 賢(中塚税理士事務所 税理士)

運営委員の方々(敬称略)

- 赤井 誠次(自然エネルギー部会)
- 井上 浩一(理事長)
- 市山 二郎(温暖化対策チーム)
- 阪口 重樹(環境教育部会 部会長)
- 重村 篤也(枚方市環境部次長)
- 末岡 妙子(公共交通部会 部会長)
- 豊高 勝(温暖化対策チーム)
- 藤原 秀昭(環境教育部会)
- 丸井 晶子(事務局長)
- 宮村 隆喜(温暖化対策チーム)



環境トピックス Vol.40

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。

今回は、「アフリカ北東部で歴史的干ばつ！東南部では極端な大雨！」「3Dプリンターでプラスチック廃材をリサイクル」です。

◆アフリカ北東部で歴史的干ばつ！東南部では極端な大雨！

長期的な干ばつが、アフリカ大陸北東部の、ジブチ、エチオピア、ケニア、ソマリアの4カ国を襲い、生活を支えている家畜が死に、農作物も大打撃を受け、**2000万人もの人々が飢餓貧困**にさらされている。こうした歴史的干ばつのその一方で、同じアフリカで、今年1月～2月に連続して5個の熱帯低気圧が南東部のマダガスカル、マラウイ、モザンビーク、ジンバブエを襲い、風と大雨で100万人以上が被災した。また4月には南アフリカでも洪水が発生した。

これらの災害の**原因はいずれも気候変動によるものである**との研究報告を世界気象機関が公表した。IPCCが公表した第3作業部会の評価報告書(気候変動の緩和)によると、2010年～2019年の温室効果ガスの排出量は史上最高レベルに達しているという事だ。「生存可能な未来」を確保するためには、温室効果ガスの排出量を**2030年までにほぼ半分**にしなければならないとのことである。にもかかわらず、CO₂の排出量は減少へと転じていないのが現実だ。

残された時間は少ない。私たち一人一人も危機感を持って温暖化対策に取り組んでいかなければならない。

◆3Dプリンターでプラスチック廃材をリサイクル

去る6月3日、プラスチックの廃材を原料に、3Dプリンターで家具などを作るリサイクルの研究拠点が神奈川県鎌倉市に開設され公開されたとの報道があった。

この拠点は慶應義塾大学と鎌倉市、それと企業などが地域におけるリサイクルの在り方を研究しようと開設したとのこと。細かく裁断したプラスチックの廃材を高温で溶かし、施設にある大型の3Dプリンターで製品に仕上げることができ、実際にベンチやプランターを作る様子が公開されたという事だ。

我が国における廃棄プラスチックはその**8割以上がリサイクルされている**というが、その**7割以上は欧米ではリサイクルとは認めていないサーマルリサイクル**である。製品へと生まれ変わらせる**マテリアルリサイクルとなると2割程度**しかない。プラスチックのリサイクルは同じ性質のものでなければリサイクルするのが難しいと言われているが、今回報道されたものは、異なった性質のプラスチックでも可能なのか、問題はないのか、気になるところではある。いずれにしても、日本が抱えているプラスチック問題にとって明るいニュースである。引き続き注視していきたい。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

「環境ミニ講座」「環境ティールーム」上半期予定が決まりました

「環境ミニ講座」「環境ティールーム」の上半期の予定が決まりました。夏休みの子供向け講座も充実！地球温暖化問題に関する情報も得られます。今月(7月)のミニ講座は親子で挑戦「手作り乾電池」です。そしてティールームは「風力発電の今 日本の巻き返し」です。ご参加お待ちしております。詳しくはチラシをご覧ください。



子ども用品リユースコーナーの利用状況

好評をいただいているリユースコーナー。2022年度に入ってから、4月、5月の利用状況をお知らせします。



延べ利用人数：69人 延べ利用点数：406点でした。



バス営業所 バックヤード見学会のご案内

京阪バス株式会社枚方営業所のバックヤードの見学や、バスに乗ったままの洗車体験や、非常口からの脱出体験など、楽しい体験メニューが盛りだくさん！

募集対象：小学生以下(保護者同伴)
参加費：無料
定員：各回30人
実施日時：下記の通り各日2回計4回実施します



8月20日			8月21日		
	出発場所	集合時間		出発場所	集合時間
午前の部	枚方市駅	午前10時	午前の部	新香里	午前10時
午後の部	樟葉駅	午後2時	午後の部	津田駅	午後2時

詳細は、市またはひらかた環境ネットワーク会議のホームページをご覧ください。お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議 (TEL:847-2286 FAX:807-7873) まで

<参考 ~過去実施した時の感想から~>

- ・東京行高速バスの運転手ベットの体験などを楽しんだ他、最後に、軍手をお借りしてバスの大きなタイヤを一人で転がすこともできて、まるでアミューズメントパークのように楽しみながら学ぶことができました。
- ・最新鋭のバス緊急自動停止装置では、参加者のお父さんに非常ボタンを押してもらい、自動で止まるという体験もさせてもらいました。

色々な事業がすでに始まっています



総会が終わり、さあ！本格的に活動が始動します。各部会では事業計画に則り、事業の具体化に向けた話し合いが行われたり、既に実際の活動に取り掛かっていたりと、途切れさせることなく活動が展開されています。その一部をご紹介します

環境ティールーム

今年度初めての「環境講座」は環境ティールームでした。今年度の環境ティールームは、キャッチコピーに「みんな知っとこ 今地球で起きていること」を掲げ、全8回シリーズで実施されます。

その1回目「世界的水不足 日本の水源が危ない！」が6月16日に実施されました。「水道の栓をひねると蛇口から安全な水が流れ出る」日本で暮らしていると、それが当たり前になっていて、水不足に危機感を抱くことは少ないと思われませんが、講座終了後に参加者から「もっと水を大切にしないとあかんね！」「バーチャルウォーターなんて、海外の水に頼っているなんて知らなかった！」「日本の水源が海外資本に買われているのに脅威を感じている」などの感想が聞かれました。

「節水の大切さ」水不足と密接な関係のある「温暖化対策への意識を持つことの大切さ」など気づきの多い講座となりました。



出前授業

5月に既に3校への出前授業を実施しました。(詳しくはP4をご覧ください。)

マイゴーヤ

今年も定員いっぱいの申し込みがありました。

4月21日の土づくりを皮切りに5月12日の植え付け、そして26日のネット張り、毎月おおよそ2回程度集まって作業をしています。作業後には、お茶菓子をつまみながら環境の話を聞いたり、参加者同士交流したりと、9月29日予定のネット外しまで、楽しくマイゴーヤの活動は続きます。





部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会

「ペットボトルから使い捨て問題を考える」出前授業を実施しました

5月19日(木)、さだ東小学校の4年生2クラスを対象に出前授業に行ってきました。また5月24日(火)には、香陽小学校4年生3クラスを対象に出前授業を実施しました。いずれもテーマは「ペットボトルから使い捨て問題を考えよう!」です。生活の中で使い捨てにしているペットボトルなどのプラスチックごみを使って、「ごみを減らし資源を有効に活用する社会(循環型社会)の仕組み」と、それを支える「4R」の取り組みの大切なことを、体験やクイズを通して学んでもらいました。普段は意識していなかったことに、少しでも関心を持ってもらえたと思います。

さだ東
小学校



香陽
小学校



こうした「環境出前授業」は、知識を教えるというよりは、体験や実験を通じて目で見て、頭で考え、体で学ぶ講座です。今まで、気付かなかったことに気づき「これから、プラスチックのゴミを出来るだけ減らした方が良い」「ゴミを減らしていかないと、世界がゴミだらけになるから、自分もリサイクルしていきたい」「これから、ゴミ拾いとかに積極的に参加したい」と行動に移そうとする子ども達!本当に嬉しいです。

しかし残念ながら、まだ一部の学校でしか実施出来ていないのです。私達は、すべての学校が、環境出前授業を活用してくれればといいなと思っていますが、そのためには、私達の活動と一緒に参加してくださる方がもっとも増えないことには力が足りません。充実した人生を元気に生きて行こうと思えば、毎日の生活に目標(ハリ)を持つことが大事です。退職後ゆとりの時間をお持ちの方、ぜひ一緒に活動しましょう!残された人生が豊かになりますよ♪

公共交通部会

今年の取り組みを紹介します

公共交通部会が長年続けてきた「バス!のってスタンプラリー」の取り組みですが、今年もみんなで集まってとはいかないようです。そこでこの「スタンプラリー」を、本年も昨年同様、“路線バスに乗って各自で市内を回る”という形で実施します。

また今年も、お隣の八幡市と共催し、エリアを拡大して実施します。

「松花堂弁当を完成させよう!」をテーマに、地域の色々な魅力を知ると共に、感じ、更にそれを結ぶ路線バスの利用方法も体験できます。ちなみに昨年は400人以上の方々にご参加いただきましたが、今年はそれを上回る参加者を目指しています。

また今年も初めての取り組みとして、バスのバックヤードの体験見学会を実施します。バスに乗ったままの洗車体験、非常口からの脱出などの体験に加え、バスの乗り方、公共交通の役割など、体験を通し、楽しみながらいろんなことを学んでもらえたらと思っています。

(関連記事は6P)



自然エネルギー部会

今年も開催 見学会 & シンポジウム

「カーボンニュートラル」「温室効果ガスの排出削減」など、温暖化防止に向けての言葉が飛び交っていますが、国際エネルギー機関(IEA)が2021年の世界のエネルギー関連の二酸化炭素排出量が過去最高を記録したと発表したように、二酸化炭素排出量は一方向に減る気配はありません。

自然エネルギー部会は、こうした状況を少しでも改善できないか、そのためには再生可能エネルギーについての理解と、再生可能エネルギーを取り巻く状況などについて、もっともっと多くの人に知ってもらいたい、知らせたいとの思いで、今年も見学会及び講演会を開催する計画で進めています。



講演会では気候変動により、農業の現場で、そして漁業の現場で、どのようなことが起きているのかを、それぞれに関わっておられる方からお話しをお聞きする予定をしています。また見学会は、ピコ水力で発電した電気を実際に活用しておられるところを見学させてもらう予定をしています。

後日チラシ等でお知らせしますので楽しみにお待ちください。